

株式会社アミヤ

叩き板金の技を極めて
高品質・短納期に貢献

納期
相談
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



試作した電気自動車

業務内容
職人技を駆使して
試作部品を製造

創業時から試作板金を手がけ、農業機械・建設機械メーカーや自動車メーカーからの高い品質基準やコスト、短納期に当たっている。ハンマーと「あて盤」（鉄塊）を使って鉄板の形状を変えていく職人技の叩き板金のほか、積層金型やZAS（亜鉛合金）型などの簡易金型技術を駆使して、需給変動が大きい量産品とは一線を画し、一品物や月1000個以下の小ロット部品、形状の複雑な試作部品を中心に事業展開して存在感を発揮している。

強み
叩き板金と最新設備で
新旧技術を融合

アルミ板から新幹線の前頭部を製造する技法としても有名な叩き板金は、全国でも高度な技術を保有する会社が限られている。さらにレーザー加工機や3次元（3D）測定機などの最新設備を定期的に導入し、板金技術を中心に保有技術を高度化させている。加えて、近年注目を浴びる3Dプリンターについては、その技術動向をウォッチしている。

人材育成
世代を超えて職人技を
継承

±0.5mm以下の精度が求められる叩き板金は職人技の世界。10年で一人前と言われる職人の育成は会社の屋台骨に関わる。全社員26人の平均年齢は36歳で、そのうち7〜8人が職人。会社の将来を見据え、平均年齢のさらなる若返りと職人育成のため平成25年4月には地元工業高校から2人を採用

した。向き不向きの見極めや基礎的な指導はあるが、先輩職人の技能を見て覚えるなど地道な鍛錬が必要となる。ただ、職人の特徴は技能を身につけるほど収入が上がり、高齢になっても会社や社会に貢献できること。世代を超えて職人技を継承するための努力が続けている。



叩き板金の技術を用いて製作したフォークリフトのボディ

今後の展望
電気自動車ボディの
試作から広がる夢

叩き板金で電気自動車（EV）のボディの試作품을平成22年に完成した。仕事の合間を縫って取り組んだもので、ホームページ（HP）で部品を一つずつ紹介していた。せっかくだからとEVを走らせ、動画もHPに載せた。もともと技術力のPRが目的だったが、さまざまな事業の可能性が大きく広がった。特に若い社員は日々の仕事で満足することが少なくなっている。EVの試作は技術確認や若手教育、そして意欲向上のためにも続けていく方針。さらに、蓄積した技術を応用して将来は自社製品の開発も考えている。これからは夢のあるものづくりを目標に掲げ、挑戦を続ける。

COMPANY PROFILE

株式会社アミヤ

大阪25

ISO 9001

当社の
歴史

会長である父が兵庫県尼崎市で兄弟が経営していた板金会社から独立し、創業しました。毎日同じモノをつくるより違うモノをと、試作部品にこだわり技術を磨いてきました。古くからの技術である叩き板金はいまだになくならず、残していくことが社会的な使命だと思っています。

叩き板金や簡易金型の技術を駆使して
顧客要望に応えます。

代表取締役 中村 恒さん



■主な事業内容

農業・建設機械や自動車に付属する板金部品の製造

■主な取引先（納入先）

農業機械メーカー、建設機械メーカー、自動車メーカー

住所／〒566-0052
摂津市鳥飼本町
4-4-29
TEL／072-654-3588
FAX／072-654-5058
創業／昭和55年10月
設立／昭和59年8月
資本金／3,000万円
従業員／26名

<http://www.amiya1980.com/>